



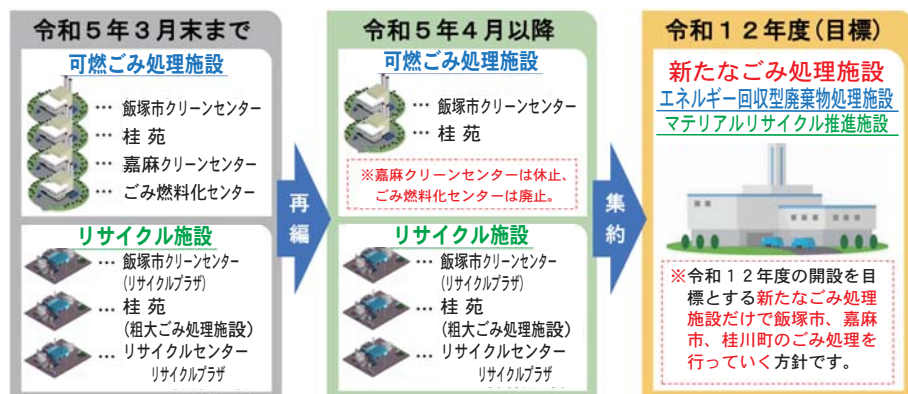
816億円+αのごみ処理施設

現在の計画は？

※県央作成の広報紙はコチラ→



下の図にあるように、新たなごみ処理施設を建設し、そこに統廃合する計画です。



事業費は？

445 億円 設計・建設費
71 億円 造成費他
300 億円 運営費 (20 年間)
+ ? 解体費

総額 816 億円以上！

問題1 とにかく高い！

他の自治体の事例と比較して高額な事業費。また各市町の財政への影響も大きく、飯塚市・嘉麻市ともに、令和12年度末には貯金がゼロになる見込みです。結果、ゴミ袋など公共料金の値上げや、他の事業へのしわ寄せも。。

	ふくおか県央	北九州市日明工場	久留米市上津	大村市
焼却能力	220 t / 日	500 t / 日	209 t / 日	128 t / 日
設計・建設費	445 億円	332 億円	270 億円	206 億円
運営管理費 (20 年間)	300 億円	190 億円	146 億円	131 億円
運転開始	2030年4月	2025年4月	2028 年10月	2030年7月

※福岡県民新聞の記事を参考に作成

問題2 検討不足！

これだけ高額な事業費となった時点で一旦、ストップして計画を見直すべきでした。たとえば、ごみの減量を行うことで、施設の規模を小さくしたり、今ある施設をもっと長く使えないか検討したりできたはず。特に飯塚市吉北のクリーンセンターは、1998 年操業開始でまだまだ現役バリバリの様子。これがもっと長く使えると、費用がぐっと抑えられるのではないのでしょうか。

問題3 住民への説明不足！

ごみの問題は、住民生活に密着した問題です。さらに今回は市町の財政に大きな影響を与える事業となっています。しかし、住民への説明会は開かれず、広報紙を昨年末に配布しただけ。住民説明会を開催し、地域住民に十分な説明をした上で、このまま進めてよいのか、一緒に考えるべきではないのでしょうか。

